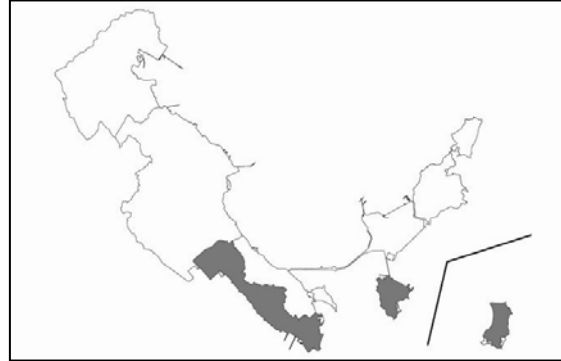


3) 勝連地域

現況と課題

勝連地域は、勝連半島の中城湾側及び浜比嘉島、津堅島で形成されている。勝連半島では県道8号線や県道16号線沿道を中心に大規模な集落が形成され、その周辺は農地や丘陵地等のみどり豊かな空間が広がっている。

本地域の人口及び世帯数は微増傾向であり、土地利用状況は自然的土地利用が上回っている。公園・緑地は19箇所あり、住民一人当たり公園面積（供用開始）は15.3㎡となっている。（都市公園等一覧は参考資料p59～61参照）



本地域には、勝連半島南側の斜面緑地や、勝連半島、浜比嘉島、津堅島の自然海岸線等の豊かな自然及び集落景観が残っており、その維持・保全が課題である。

また、琉球王国のグスク及び関連世界遺産群の一つとして世界遺産に指定されている勝連城跡や各地域に残る歴史文化資源が豊富にあり、これらの維持・保全や景観づくり等への活用も課題である。

表 人口・世帯数の推移 (単位:人、世帯)

	H2	H7	H12	H17
人口	13,035	13,128	13,581	13,694
世帯数	3,221	3,431	3,735	4,018

資料:国勢調査

表 土地利用状況

(単位:ha)

	自然的土地利用					都市的土地利用					合計
	農地	山林	水面	その他	小計	宅地	公共・公益用地	道路	その他	小計	
面積	349.8	244.2	4.5	145.2	743.7	135.1	47.9	99.9	349.5	632.3	1,376.0
構成比	25.4%	17.7%	0.3%	10.5%	54.0%	9.8%	3.5%	7.3%	25.4%	46.0%	100.0%

資料:平成18年 都市計画基礎調査

表 公園・緑地の状況

(単位:箇所、ha)

	住区基幹公園		その他の公園	合計	一人当たり公園面積(㎡)
	街区公園	近隣公園			
箇所	11	5	3	19	15.3
面積	1.57	14.88	4.56	21.01	

緑道・その他(未決定)、未着手公園を除く

一人当たり公園面積:供用開始面積合計÷人口(H17国勢調査)

資料:うるま市 都市計画部 都市計画課(平成21年)

みどりの特性（主なみどりの資源）

本計画では、基本方針として「みどりを守る」「みどりをつくる」「みどりを育てる」の3つの柱を掲げている。（p23 参照）

「みどりを守る」には、樹林地や農地、海岸・海浜等の自然環境の保全がある。また、歴史文化的な資源である史跡（グスク・井泉等）や闘牛場、集落の屋敷林等の保全もある。本地域においては、勝連半島南側の急斜面地、自然海岸、勝連城跡等の資源がある。

「みどりをつくる」には、道路の植栽帯や公園・緑地の整備、公共施設及び民間施設の緑化、地域住民による住宅地や海岸等での緑化活動等がある。本地域においては、県道 16 号線のフクギ並木道やキャロット愛ランド、学校施設等の緑化空間、道路等での地域住民による緑化活動等の資源がある。

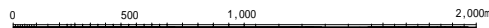
「みどりを育てる」には、樹林地等の保全するみどりや公園等の創出するみどりの維持管理について、地域住民等と協働で樹木の剪定・草刈り・清掃活動等を行うことや、地域資源として観光や教育等への活用等がある。本地域においては、地域住民等による公園や道路の清掃活動等の資源がある。

本地域のみどりの特性となる主な資源を、住民意見を踏まえて以下のように整理し、次頁において図示する。

樹林地	勝連半島南岸の急傾斜地、島しょ地域の斜面緑地等
農地	南風原のサトウキビ畑、津堅島のニンジン畑等
海岸・海浜	中城湾の海岸・海浜、南風原の海水路、トゥマイビーチ等
史跡・闘牛場	勝連城跡、平安名ガー、ワイトゥイ、ガーラ砦、アマミチューの墓等
屋敷林・シンボルツリー	フクギ屋敷林（浜比嘉島、津堅島等）、内間のハウヤー木 2 世等
道路の植栽帯	県道 16 号線のフクギ並木道等
公園・緑地	平敷屋公園、浦ヶ浜公園、キャロット愛ランド等
施設緑化（公・民）	庁舎、学校教育施設、リゾートホテル、大規模商業施設等
良好な眺望点	勝連城跡、比嘉グスク、平敷屋タキノー等
地域の緑化活動	道路の緑化・清掃活動等

また、以前あったが現在はなくなった良好なみどりとして、勝連半島及び津堅島に多く生えていたデイゴやリュウキュウマツ等が、住民意見から挙がった。

みどりの現況特性図（勝連地域）



県道16号線にはフクギの街路樹が植栽されている

サトウキビ畑の良好な田園風景がみられる

中城湾新港地区にはトカゲハゼの育成地として人工干潟が造成されている



勝連城跡からの良好な眺望



勝連半島南岸の急傾斜地には、まとまった緑地帯がみられる



世界遺産に指定されている勝連城跡

世界遺産である勝連城跡及びその周辺一帯は、積極的な活用を図る必要がある



勝連城跡北側にある沼地



内間集落内にみられるフクギ屋敷林と石垣



ガーラ缸



平敷屋公園(平敷屋タキノー)からの良好な眺望



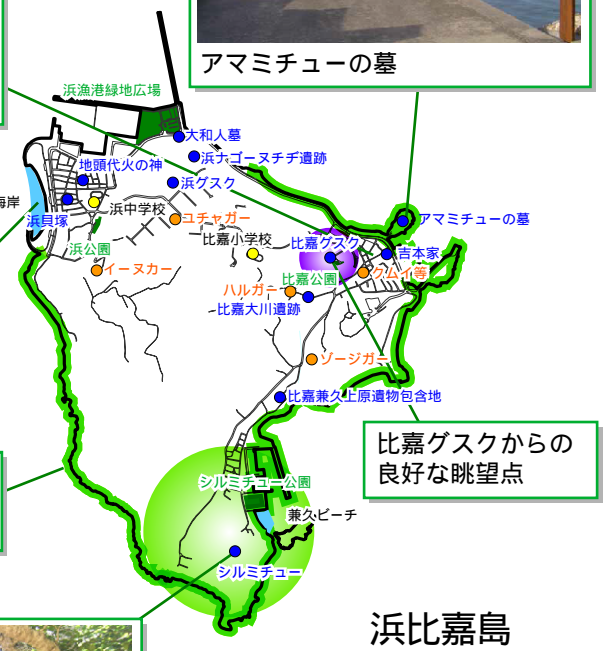
シルミチュー周辺にはハスノハギリ等、多くのみどりがある



比嘉集落内にみられるフクギ屋敷林と石垣



アマミチューの墓

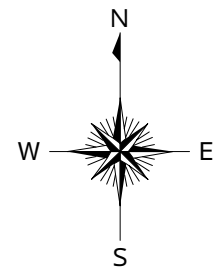


浜比嘉島

浜ふるさと海岸は、レクリエーションの場として利用されているが、ゴミ等の不法投棄がみられる

急傾斜地にみられる樹林地は、野生動植物の貴重な生息の場となっている

比嘉グスクからの良好な眺望点



凡 例	
●	主な公共施設
●	史跡・闘牛場
●	井泉(カー)
■	ビーチ
■	公園
—	国道・県道
●	良好なみどり
○	以前あった良好なみどり
●	良好な眺望点
■	水面(河川・海水路)

海岸域は人工的な海岸もあるが自然海岸も残されている

勝連半島には、戦前デイゴの木が多くあった

海岸に樹木がみられる



サーターヤーの煙突



トゥマイ浜ビーチ(津堅ビーチ)

キャロット愛ランドの遊歩道が機能している



キャロット愛ランドの展望台からの眺望

急傾斜地にみられる樹林地は、野生動植物の貴重な生息の場となっている

リュウキュウマツやデイゴが多くあった



津堅島

ニンジン畑の良好な田園風景がみられる

津堅小中学校のクワノハエノキは沖縄県の名木百選に選ばれている

みどりと歴史が息づく 美しいむたかのまち

将来像の考え方

豊かなみどりと勝連城跡をはじめとする歴史文化資源が色濃く残る地域であり、今後もそれらを保全・活用し、将来の子ども達に引き継いでいくまちを目指す。

勝連城跡という世界遺産のある地域に相応しい、風光明媚で品格のあるみどりのまちを目指す。

方針

みどりの特性を踏まえて、上記に掲げるみどりの将来像を実現するため、みどりを守り・つくり・育てるための方針を示す。

樹林地の保全

勝連半島南岸の急傾斜地、浜比嘉島を覆う斜面緑地、津堅島を取り囲む斜面緑地等のまとまった緑地帯は、骨格的なみどり及び地域の貴重な自然景観として保全を図る。その手法として、地域との協議のもと、風致地区等の各種地域制緑地（p5 参照）の指定を検討する。



斜面緑地（浜比嘉島）

農地の保全

南風原周辺の中城湾に面したサトウキビ畑や津堅島のニンジン畑等、地域の特性に合った優良農地については、貴重な田園風景として保全を図る。



ニンジン畑（津堅島）

海岸・海浜の保全

勝連半島の中城湾に面した海岸線、浜比嘉島の南側の海岸線及び津堅島の海岸線は、良好な自然環境や生態系を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努める。

また、浜比嘉島に整備された人工ビーチの浜ふるさと海岸は、みどりが少ないため緑陰創出に努める。

南風原の海水路ではトカゲハゼの生息地として人工干潟が造成されており、今後も保全・活用を図る。



海水路の人工干潟（南風原）

井泉の保全

平安名ガー、内間の角ガー、津堅のアラカー等、各集落に残る井泉やその周辺環境については、地域と協働で環境整備や維持・保全を図り、地域資源として活用する。



平安名ガー

歴史文化資源の保全・活用

戦争の歴史を伝える文化財的なサーターヤの煙突等や、ワイトゥイ、ガーラ缸、各集落にある拝所等の地域の歴史文化資源については、地域の歴史と伝統を伝える資源として、地域の協力のもと史跡周辺のみどりと一体的な維持・保全を図り、これらを活かした景観づくり等を進める。



ガーラ缸

神の島と呼ばれる浜比嘉島に多くあるアマミチューの墓やシルミチュー、東の御嶽（シヌグ堂）等の遺跡を、島の地域資源として保全・活用する。

特に、世界遺産の勝連城跡は本市の代表的なシンボルで、来訪者が多く訪れる観光拠点でもあり、地域アイデンティティ醸成の点からも、史跡の保全を図る。



アマミチューの墓

史跡等の整備にあたっては、歴史的な物語性等を考慮するとともに、自生種を中心に植栽する。

屋敷林や地域のシンボルツリー等の保全

浜比嘉島や津堅島等の集落内に残るフクギ屋敷林は、昔ながらの集落景観を形成しており、その保全を図る。

また、内間のホウヤー木 2 世（ガジュマル）や津堅小中学校のクワノハエノキ等の地域のシンボルとなる樹木を、保存樹制度の活用等により地域住民と協力して維持・保全する。



内間のホウヤー木 2 世

（p78 保存樹（案）一覧図参照）

道路の緑化と維持管理

県道 16 号線はフクギ並木道等の植栽帯を形成しているが、世界遺産である勝連城跡への玄関口として、今後も地域住民との連携のもと、緑化等による沿道景観づくりを進める。

その他の道路についても、地域住民や専門家等の意見を聞きながら魅力的な街路樹を整備するとともに、地域が愛着を持って育てていけるような道路愛護団体登録制度等の仕組みを検討し、地域や関係機関との協力のもと、適切な維持管理



県道16号線のフクギ並木道

に努める。

また、防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置する。

公園・緑地の整備

平敷屋公園の拡張整備を検討するとともに、浦ヶ浜公園やキャロット愛ランド等の既存公園については、快適に利用できるよう地域住民や関係機関の協力のもと、魅力的な機能の構築、花や木の植樹、遊歩道・遊具・トイレ等の施設の整備と維持管理を図る。

また、世界遺産である勝連城跡については、北側にある沼地等の周辺の自然環境や生態系を保全しつつ歴史公園としての整備を進め、市民及び来訪者の憩い・交流の場、観光・レクリエーション拠点としての有効活用を図る。勝連城跡の整備にあたっては、歴史的な物語性等を考慮するとともに、自生種を中心に植栽する。

内間等の身近な公園が不足している地域については、配置バランスを考慮し、新規公園の整備を検討する。(p11 字別住民一人当たり公園面積現況図参照)

公園整備については、地域ニーズを反映させるとともに、防犯等の安全性や利便性・快適性等に配慮する。



公共施設・民間施設の緑化

地域参加型による多様な緑化手法を検討し、公共施設緑化を進める。また、民間施設については、市民が身近に潤いを感じる大規模商業施設の緑化、観光振興にも寄与するリゾートホテルの緑化等、それぞれの施設の特性に応じた緑化・維持を進める。



住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出

本地域には、浜比嘉島・津堅島の島々を中心に、伝統的な農村・漁村集落の形態が多く見られる。集落内にはフクギ屋敷林や集落背後林、大木・古木、井泉等の資源が多く存在しており、これらを周辺環境と合わせて保全する。

また、世界遺産である勝連城跡の周辺の住宅地は、城下町に相応しい景観づくりとして、質の高い緑化を進める等、地



域住民とともに住宅地のみどりの保全・創出に取り組む。

高台からの眺望の保全

勝連半島南側の急傾斜地や、比嘉グスク、平敷屋タキノー等の高台から見る中城湾、金武湾、島々、集落景観及び田園風景等の眺望を、地域と協力しながら維持・保全に努める。

特に、世界遺産である勝連城跡については、ランドマークとしての勝連城跡への眺望及び勝連城跡からの周辺地域や海への眺望を保全し、さらに良質な景観形成を図るためのルールづくり等を進める。



勝連城跡への眺望



勝連城跡からの眺望

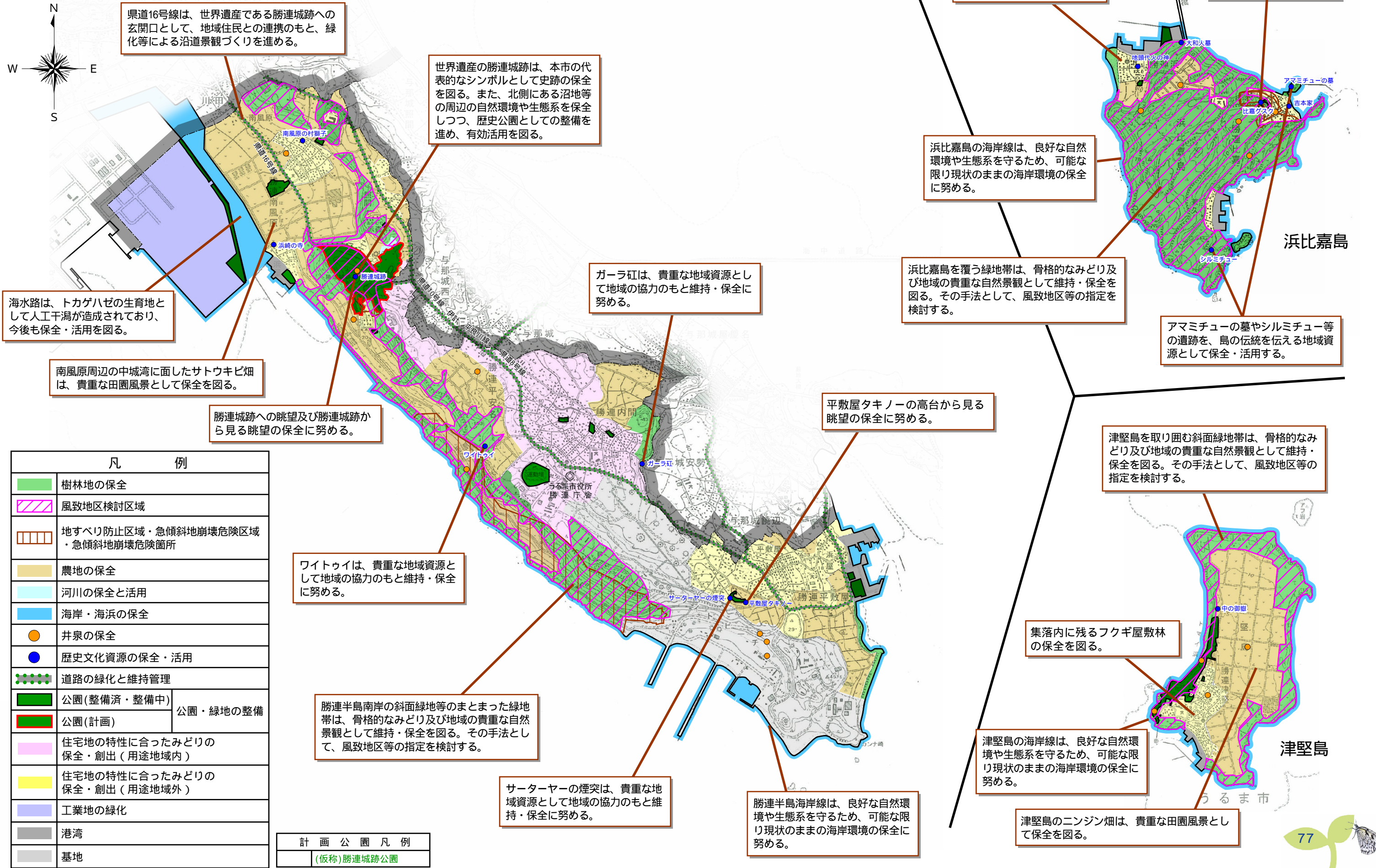
地域とともに取り組むに緑化活動

本地域には、各自治会をはじめ、地域住民等で組織される緑化団体が意欲的に活動しており、活動の場は地域コミュニティづくりにも寄与している。これらの団体とボランティア・関係機関・行政等による協働体制を構築し、それぞれの役割を果たしながら、沿道緑化・清掃活動等を継続的に取り組む。

地域別方針図（勝連地域）

みどりの将来像
みどりと歴史が息づく 美しいむたかのまち

0 500 1,000 2,000



海水路は、トカゲハゼの生育地として人工干潟が造成されており、今後も保全・活用を図る。

南風原周辺の中城湾に面したサトウキビ畑は、貴重な田園風景として保全を図る。

勝連城跡への眺望及び勝連城跡から見る眺望の保全に努める。

世界遺産の勝連城跡は、本市の代表的なシンボルとして史跡の保全を図る。また、北側にある沼地等の周辺の自然環境や生態系を保全しつつ、歴史公園としての整備を進め、有効活用を図る。

ガーラ砦は、貴重な地域資源として地域の協力のもと維持・保全に努める。

ワイトウイは、貴重な地域資源として地域の協力のもと維持・保全に努める。

勝連半島南岸の斜面緑地等のまとまった緑地帯は、骨格的なみどり及び地域の貴重な自然景観として維持・保全を図る。その手法として、風致地区等の指定を検討する。

サーターヤアの煙突は、貴重な地域資源として地域の協力のもと維持・保全に努める。

勝連半島海岸線は、良好な自然環境や生態系を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努める。

浜比嘉島を覆う緑地帯は、骨格的なみどり及び地域の貴重な自然景観として維持・保全を図る。その手法として、風致地区等の指定を検討する。

浜比嘉島の海岸線は、良好な自然環境や生態系を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努める。

集落内に残るフクギ屋敷林の保全を図る。

比嘉グスクから見る眺望の保全に努める。

アマミチューの墓やシルミチュー等の遺跡を、島の伝統を伝える地域資源として保全・活用する。

津堅島を取り囲む斜面緑地帯は、骨格的なみどり及び地域の貴重な自然景観として維持・保全を図る。その手法として、風致地区等の指定を検討する。

集落内に残るフクギ屋敷林の保全を図る。

津堅島の海岸線は、良好な自然環境や生態系を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努める。

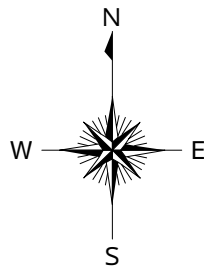
津堅島のニンジン畑は、貴重な田園風景として保全を図る。

凡 例	
	樹林地の保全
	風致地区検討区域
	地すべり防止区域・急傾斜地崩壊危険区域 急傾斜地崩壊危険箇所
	農地の保全
	河川の保全と活用
	海岸・海浜の保全
	井泉の保全
	歴史文化資源の保全・活用
	道路の緑化と維持管理
	公園(整備済・整備中)
	公園(計画)
	住宅地の特性に合ったみどりの 保全・創出(用途域内)
	住宅地の特性に合ったみどりの 保全・創出(用途域外)
	工業地の緑化
	港湾
	基地

計画公園凡例	
	(仮称)勝連城跡公園

保存樹(案)一覧図(勝連地域)

0 500 1,000 2,000m



うるま市みどりの基本計画基礎調査委託業務報告書にある保存樹(案)をもとに、住民意見から挙げた樹木を追加している。ここに挙げている樹木は一例であり、実際の保存樹指定の際には、さらなる調査が必要である。

住民意見からの保存樹(案)



南原小学校のガジュマル「カ太郎」



浜崎の寺のガジュマル



平安名の広場のガジュマル



勝連総合グラウンドのガジュマル



内間のホウヤーマ木 2 世



内間売店のガジュマル



南風原の拝所のモクマオウ



平安名第二公園のガジュマル



平敷屋の広場のガジュマル



東の御嶽のガジュマル
(おきなわの名木百選認定)



浜集落のフクギ群



シルミチューのハスノハギリ群



津堅集落のフクギ群



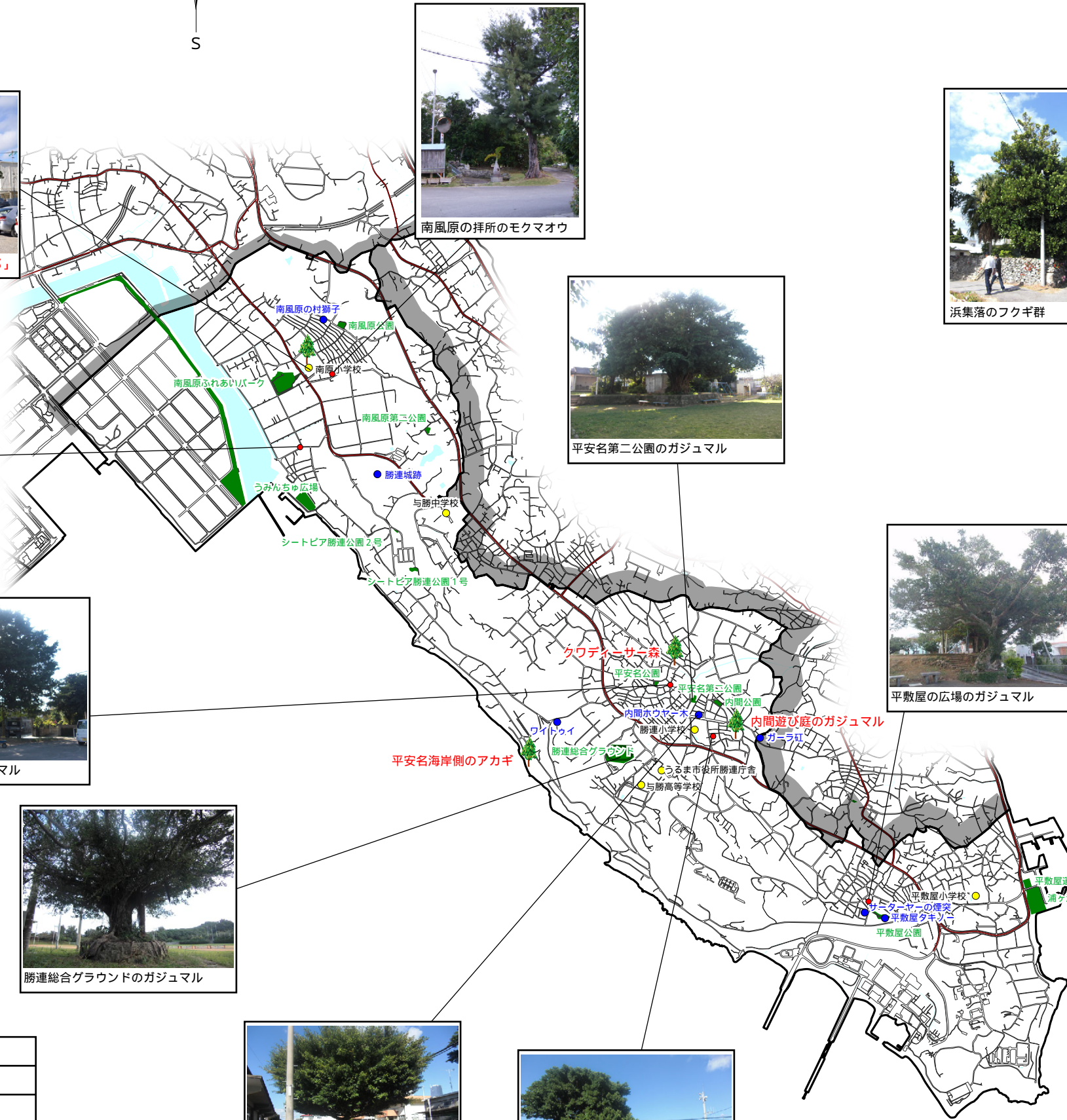
津堅集落のフクギ群



津堅広場のクワディーサー



津堅小中学校のクワノハエノキ
(おきなわの名木百選認定)



浜比嘉島



津堅島

凡 例	
● (Yellow)	主な公共施設
● (Blue)	史跡・闘牛場
■ (Light Blue)	ビーチ
■ (Green)	公園
— (Red)	国道・県道
— (Cyan)	水面(河川・海水路)